市民と市長の対話集会「スマイルトーク」議事録要旨

質問NO	質問タイトル	参加者質問要旨	市長回答要旨	開催地区NO	開催中学校区
1	市道への編入について	自治会内の津波一次避難場所を囲む私道は、路面や側溝が老朽化し、雨天時に冠水する。私道のため市で補修等ができない状態なので、市道への格上げを検討してほしい。	現地の状況を踏まえて、市道の認定基準などを確認しながら、どのような対応が可能か担当課と相談してほしい。	5	赤江中
2	避難所の空調整備について	指定避難所である学校体育館の空調整備計画を進めてほしい。また、団地内の緑地広場が地震の一次避難場所に指定されているが、津波災害時などにどのような活用ができるか自治会でも検討していきたい。	体育館の空調整備は順次進めており、昨年度は2校整備した。今後も可能な限り早く整備できるよう努めたい。	5	赤江中
3	赤江地域センターのバリアフリー化とトイレ洋式化について	赤江地域センターは、2階への階段の上り下りが高齢者や障がい者にとって困難で、2階トイレも和式のみで不便なため、バリアフリー化とトイレの洋式化を要望したい。	古い出先機関の建て替えや更新時にはバリアフリー化やエレベーター設置を進めているが、予算の関係で整備が追いついていない。できる改善を1つずつ進める。	5	赤江中
4	津波避難対策について	南海トラフ巨大地震において、車避難での対向車線利用のルール化や、外国人でもわかる多言語の避難誘導サインの設置、避難困難エリアへの避難タワー・ビルの追加指定を検討してほしい。	青島地区では今年度、外国人向けの避難誘導サイン設置を準備している。赤江地区や大淀川以北でも、避難が難しいエリアを抽出して、避難タワーの追加建設や避難ビルの新規指定などを考えていきたい。	5	赤江中
5	生活道路の整備について	赤江地域センター周辺の生活道路や、八重川の堤防道路でのスピード規制や通り抜け制限、草刈りを実施して、歩行者が安心して歩けるようにしてほしい。	道路整備などは地域の要望から優先順位をつけて担当課で随時対応している。速度制限等の交通規制は警察との協議も必要なため、自治会からの要望を取りまとめて地域センターに相談してほしい。	5	赤江中
6	小中学校への防災ヘルメットの配備について	東日本大震災時のビル街での被災経験から、落下物の危険性を痛感した。児童生徒の頭部を守るために折りたたみ式ヘルメットを机の横に配備してほしい。	学校施設の耐震化は完了しているが、天井の落下物の防止対策やヘルメット配備の必要性について、教育委員会や危機管理部とも連携して検討していきたい。	5	赤江中
7	線維筋痛症の周知・連携について	全身に強い痛みを伴う神経難病「線維筋痛症」について、職員や市民への正しい知識の周知や、宮崎大学医学部等と連携した専門医確保をお願いしたい。	県内の専門医不足という現状があるので、県や医療関係機関と連携・相談しながら、専門医の確保や支援体制の充実に向けて何ができるか考えていきたい。	5	赤江中
8	公共施設への子ども用便器設置について	公共施設には、小さな子どもが安全に利用できるよう子ども用便器を設置してほしい。	子ども用トイレの視点は重要であり、公園や公共施設の利便性向上に向けて今後の参考にしたい。	5	赤江中
9	交流センターの居場所としての活用緩和について	多世代がフラットに集える「地域の居場所（サードプレイス）」の計画を進めているが、市としての考えはあるか。また、交流センターの貸し館の制限を緩和して、いつでも集まれる空間にしてほしい。	交流センター等に子どもから高齢者までいつでも使える交流スペースや学びスポットの設置を進めている。民間の主体的な居場所づくりは、その地域に合った方法や内容で進めていただきたい。	5	赤江中
10	ひなたこどもセンターの機能と方針について	中央公園隣に令和11年度開設予定の「ひなたこどもセンター」について、児童相談所や一時保護所、子育て支援などの集約機能とあるが、どのような施設にしていきたいか市長の思いを伺いたい。	児童相談所と一時保護所を中核とし、子どもたちを緑豊かな公園隣接の環境で癒やす場所にしたい。さらに子育て・ファミサポ・教育等の相談窓口を集約した、子どもの総合支援拠点を目指していきたい。	5	赤江中
11	交流センター多目的ホールへの空調設置について	避難所にもなる地域の交流センターの多目的ホールに早くエアコンを完備してほしい。	大規模避難所である小中学校体育館の空調整備を最優先としているが、交流センターへの設置ニーズがあることをしっかり受け止めたい。	5	赤江中
12	市役所新庁舎の機能について	建設が予定されている新庁舎について、市民にとって優しく使いやすいハード・ソフト両面の機能はどうなっているか。	現庁舎の西側に機能性や使いやすさを重視して建設する。周辺の公園は親しみやすく再設計し、建物内装には県産材などを用いて宮崎らしさを演出できればと考えている。	5	赤江中
13	公園でのサッカー規制について	公園で硬いサッカーボールで遊ぶ行為は危険なため、使用できるボールを制限してほしい。	市が一律にルールを決めると公園が使いにくくなる。地域や自治会などの自主的な管理の中で協議をしていただき、意思統一を図ってルールを決めてほしい。	5	赤江中
14	ふるさと納税返礼品のアイデアについて	東村アキコさんのような宮崎ゆかりのクリエイターのデザインやキャラクターを、ふるさと納税の返礼品として活用してはどうか。	東村さんデザインの「みやねこ」のオフィシャル商品化を事業者公募で進めており、魅力的な商品ができれば返礼品にもリスト化を検討していきたい。ご意見を担当課と共有したい。	5	赤江中
15	保育士の処遇改善補助金と県外流出防止について	保育園への事故防止機器に対する補助金について感謝しているが、若手保育士が県外へ就職してしまうのを防ぎ、宮崎で働いてもらうためにも、市独自の補助金を現状維持・拡充してほしい。	保育士の処遇改善や環境整備に関する要望は、宮崎市保育会からも強くいただいており、現状維持だけでなくさらなる拡充に向けての要望をしっかりと受け止めさせていただく。	5	赤江中

16	公務員の加入と魅力ある自治会づくりについて	自治会加入者が減少している。市役所、県庁、学校の先生などの公務員が率先して加入するよう促してほしい。また、住民が参加したくなる魅力ある自治会づくりのサポートをお願いしたい。	市職員の加入率は約70％で、市全体の加入率よりは高いが、さらに加入を促していきたい。魅力ある自治会づくりのため、運営方法や新住民への声掛けなど工夫事例をもとにサポートしていきたい。	5	赤江中
17	要支援者の避難対策について	10月に予定されている赤江地区の防災訓練において、障がい者や高齢者などの「避難行動要支援者」に対する具体的な支援や避難訓練の取り組み内容について教えてほしい。	福祉避難所の開設や障がいのある方々の避難訓練はこれまでも行っているが、10月の赤江地区における訓練計画について、後ほど地域センターより詳細を説明させていただきたい。	5	赤江中
18	市役所OBの地域参画について	退職した市役所OB等の公務員が、民生委員や消防団などの地域活動に参画しやすいように働きかけてほしい。	退職時の職員に対して地域活動へ貢献していただくように強く呼びかけていく。	5	赤江中
19	高台自治会への備蓄品支援について	津波の心配がない高台にある自治会が、災害時に周囲の低地被災者をサポートできるよう、市からの備蓄品や資機材の配備をお願いしたい。	高台の自治会が周囲をカバーする取り組みについて、自主防災組織が求める防災倉庫や備蓄品、訓練のあり方など地域センターを窓口として個別に相談を重ねていきたい。	5	赤江中
20	自治会補助金申請の改善について	マンション管理組合が一括で自治会費を支払っている場合、個人情報保護を理由に世帯主名簿の提供を拒否される。代替書類により「自治会補助金」が支給されるよう、実務に即して柔軟に改善してほしい。	監査上のルールによって名簿提出を求めていたが、個人情報保護の課題も踏まえて代替書類をもって認定・支給できるよう、現在見直しを進めている。	5	赤江中